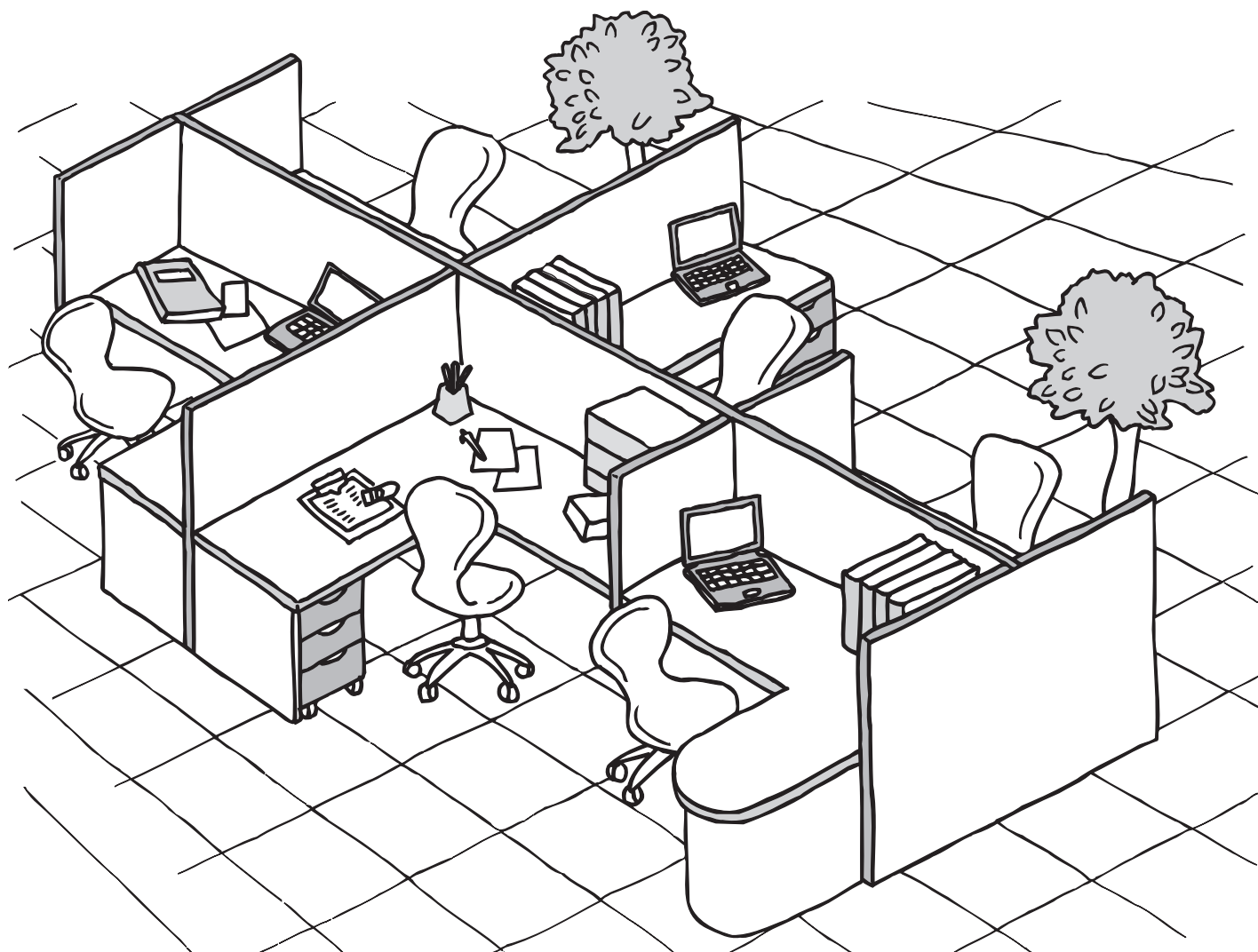
Panasonic

取扱説明書
（基本編）

レーザー普通紙ファクシミリ

品番 **UF-A800/UF-A700**

Panafax A800 A700

このたびはレーザー普通紙ファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

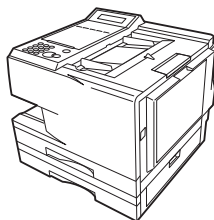
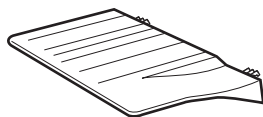
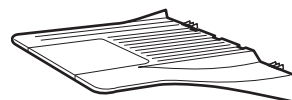
■**特に「安全上のご注意」（7 ～ 11 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

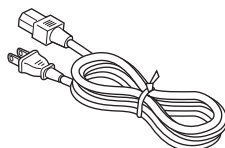
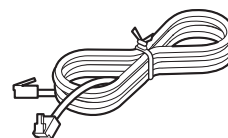
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

本体・付属品・添付品の確認

セットの内容に足りないものがある場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお申し付けください。

本体・付属品

本体

用紙トレイ. . .　1 個

原稿トレイ. . .　1 個

取扱説明書CD-ROM. . . 1 枚

電源コード. . .　1 本

回線コード. . .　1 本

添付品

取扱説明書（本書）.　1 部
用紙（テスト用）. . .　1 包

用紙サイズシール. . .　2 セット
保証書. . . . .　1 部

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効率的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本書の見かた

本書の表記について

本書では、本機の操作パネルの各キーについて、次のように表記しています。

 ⓪⑦⑧ セット など	UF-A700/A800 の操作パネルの各キーを示します。 例: ファンクション セット を押す

本書で使用する記号について

本書では、次の記号を使用して概要や操作を説明しています。

	操作の参考となる情報を示しています。必要に応じてお読みください。 例： お知らせ ● しわやカールのきつい原稿は原稿台のセンサーが誤動作しますので、しわやカールを伸ばしてからご使用ください。
	参照先を示します。 例： あらかじめワンタッチダイヤルにダイヤル番号を登録しておいてください（詳しくは、『取扱説明書 ファクス編』をご覧ください)。

説明書の体系

本機には、次の取扱説明書が用意されています。

取扱説明書　基本編（本書） 	本機の基本的な使い方を記載しています。 ● 詳しい操作を知りたいときは、CD-ROM に格納されている『取扱説明書 ファクス編』、『取扱説明書　インターネット FAX ユニット編』、および Web サイトにオンラインヘルプ化されている『ソフトウェア操作説明書』をお読みください。
取扱説明書 CD-ROM 	次の操作の詳しい内容を知りたいときにお使いください。 ファクス編　ファクス機能の詳しい内容と操作を記載しています。 インターネットファクス編　本機にオプションのインターネットファクスユニットが装着されている場合の、インターネットファクス機能の操作について詳しく説明しています。
ソフトウエア操作説明書 	本機にオプションのインターネットFAXユニットが装着されている場合の、プリンタードライバー、Panafax デスクトップ、ファクス受信ソフトの使い方について説明しています。 ● 本書は、Web サイトに PDF 形式でオンラインヘルプ化されています。本書では、各ソフトウェアのインストール方法と基本操作を説明しています。詳しい操作については、各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

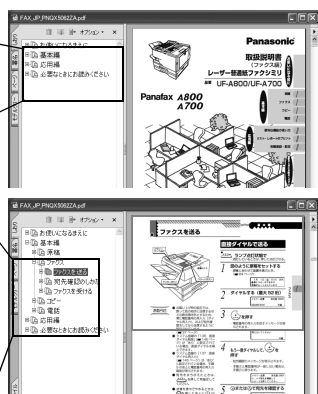
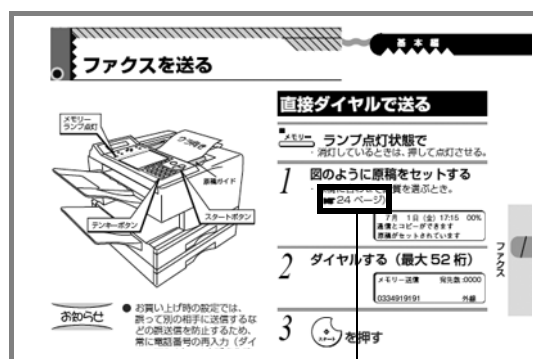
『取扱説明書 CD-ROM』の使い方

PDF 形式の取扱説明書を閲覧する場合は、次の手順で操作してください。

1 **『取扱説明書 CD-ROM』をコンピューターにセットします。**
CD-ROM が自動的に起動され、説明書の一覧が表示されます。

2 **閲覧したい説明書をクリックします。**
Adobe Reader が起動され、PDF 形式の説明書が表示されます。

3 **次の操作で、しおりやリンクを利用しての説明書を閲覧します。**

■しおりの使いかた

■参照ページの表示方法

（上記画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。）

各種ソフトウェアについて

本機にオプションのインターネットFAXユニットが装着されている場合は、「プリンタードライバー」、「Panafax デスクトップ」、「ファクス受信ソフト」を利用できます。
操作方法については、Web サイトに掲載、オンラインヘルプ化されている『ソフトウエア操作説明書』を参照してください。

プリンタードライバー	UF-A700/A800 をネットワークプリンターとして使用する場合のプリンタードライバーです。コンピューターで作成した文書を、印刷できます。
Panafax デスクトップ	コンピューターで作成した文書を紙に印刷せずに、コンピューターから直接ファクス送信するためのソフトウェアです。 「送信専用システム」として使用できます。 紙に印刷してからファクス送信する必要がないため、受信側では文書の画質の劣化が少なく、印刷するコストと手間も省けます。
ファクス受信ソフト	ファクス本体で受信した文書を、お使いのコンピューターにで転送するためのソフトウェアです。受信文書は TIF 形式のファイルとして転送され、コンピューター上の受信文書フォルダに格納されます。ファクス本体で印刷しないため、ペーパレスの簡易ファクス送受信システムを構築できます。 また、ダイレクト SMTP 機能を利用して転送するため、メールサーバーを介さず、サーバーの負荷を考慮する必要がありません。

● ソフトウェアは、下記の Web サイトからダウンロードしてお使いください。
http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

■**コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない**

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■**ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

感電の原因になります。

■**済スタンプヘッドは、乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■**電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■**電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■**電源プラグのほこり等は定期的にとる**

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■**機内に水や金属物(クリップやステープル針など)が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く**

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご相談ください。

■**本機(オプションを含む)を分解・改造しない**

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

● 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■**発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜く**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

■**高温部に触れない**

高温部にさわるとやけどの原因になります。

■**接点部に触れない**

感電の原因になります。

⚠警告

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

禁止

ガソリンなどが発火し火災の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■湿気の多い場所ではアース線を取り付けて使用する

アース線接続

万一、漏電した場合に、火災、感電の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ 同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

■ 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠注意

■電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

● 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機の通風孔をふさがない

禁止

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■取扱説明書で指示がない部分は操作しない

禁止

高温部分や突起のある部品にさわると、やけどやけがをする原因になることがあります。

● 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■プロセスカートリッジは火中に投げ入れない

禁止

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

■床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■動作中の紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

● 紙づまりは確実に取り除いてください。

管理責任者へのお願い

■管理責任者へのお願い

機器の機密保持のため、管理責任者はセキュリティー機能の作動、機器の交換・廃棄時にいたるまで、下記３項目を行うことを推奨いたします。
本製品の設置、ネットワークへの接続、ネットワークの構築につきましては、以下の内容を推奨いたします。

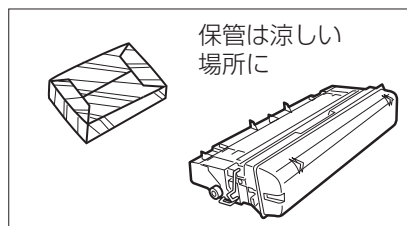
1. 管理責任者は、サービス技術者がメーカーまたはその関連会社、販売会社の社員であることを確認するために身分証明書の提示を求めることをおすすめします。

2. 本機を接続するネットワークから外部ネットワークに接続する際には、ファイアーウォールを介して接続するこを推奨いたします。
また、本機とクライアント PC またはｻｰﾊﾞｰを接続する際には、盗聴されないネットワーク環境の構築、たとえば、スイッチングハブを利用したネットワーク環境の構築をおすすめします。

3. 管理者パスワードはセキュリティー機能を保持するうえで重要な情報です。
管理者パスワードの初期値より変更することをおすすめします。
管理責任者は、パスワードが漏洩しないように、自らパスワードの秘密を保持することを推奨いたします。
管理者パスワードの変更方法については、『取扱説明書（ファクス編）』を参照し、「自局情報の登録」＞「管理者パスワード」の設定をしてください。

※ 本機のセキュリティー設定には、管理責任者が設定するパスワード（８桁）の入力が必要です。
初期値は００００００００（８桁）です。パスワードを設定することにより、管理責任者以外によるセキュリティー設定の変更を防護します。また、パスワードは任意に設定することができます。

管理責任者の選定には十分にご考慮ください。取扱説明書の記述内容を理解し、上記対応を確実に実行していただける方をおすすめします。

●用紙・プロセスカートリッジに関するお願い

■用紙、プロセスカートリッジなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

●用紙は 60 ～ 90g/m^2 の上質紙・再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
●プロセスカートリッジは当社指定品をご使用ください。

■プロセスカートリッジに関するお願い

●プロセスカートリッジは直接日光を避ける
コピー画像に異常が出ることがあります。
●プロセスカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
プロセスカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。
●使用済みのプロセスカートリッジは捨てない
回収にご協力ください。
●プロセスカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
コピー画像に異常が出ることがあります。

●法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの
1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
2. 未使用の郵便切手、官製はがき
3. 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類

●注意を要するもの
1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

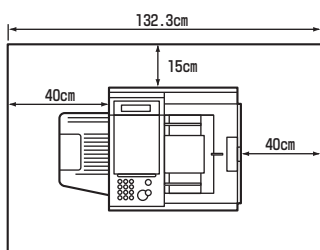
●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

取り扱い上のお願い

●設置上のお願い

■次の様な場所への設置は避けてください。

●高・低温、低・多湿な場所
●温度変化の激しい場所
●冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
●加湿機の近く
●テレビ、ラジオなど電子機器の近く
●直射日光のあたる場所
●ほこり、アンモニアガスが発生する場所
●シンナー、ガソリンなどの近く
●換気の悪い場所
●床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

●設置スペースについて

●換気についてのお願い

■本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

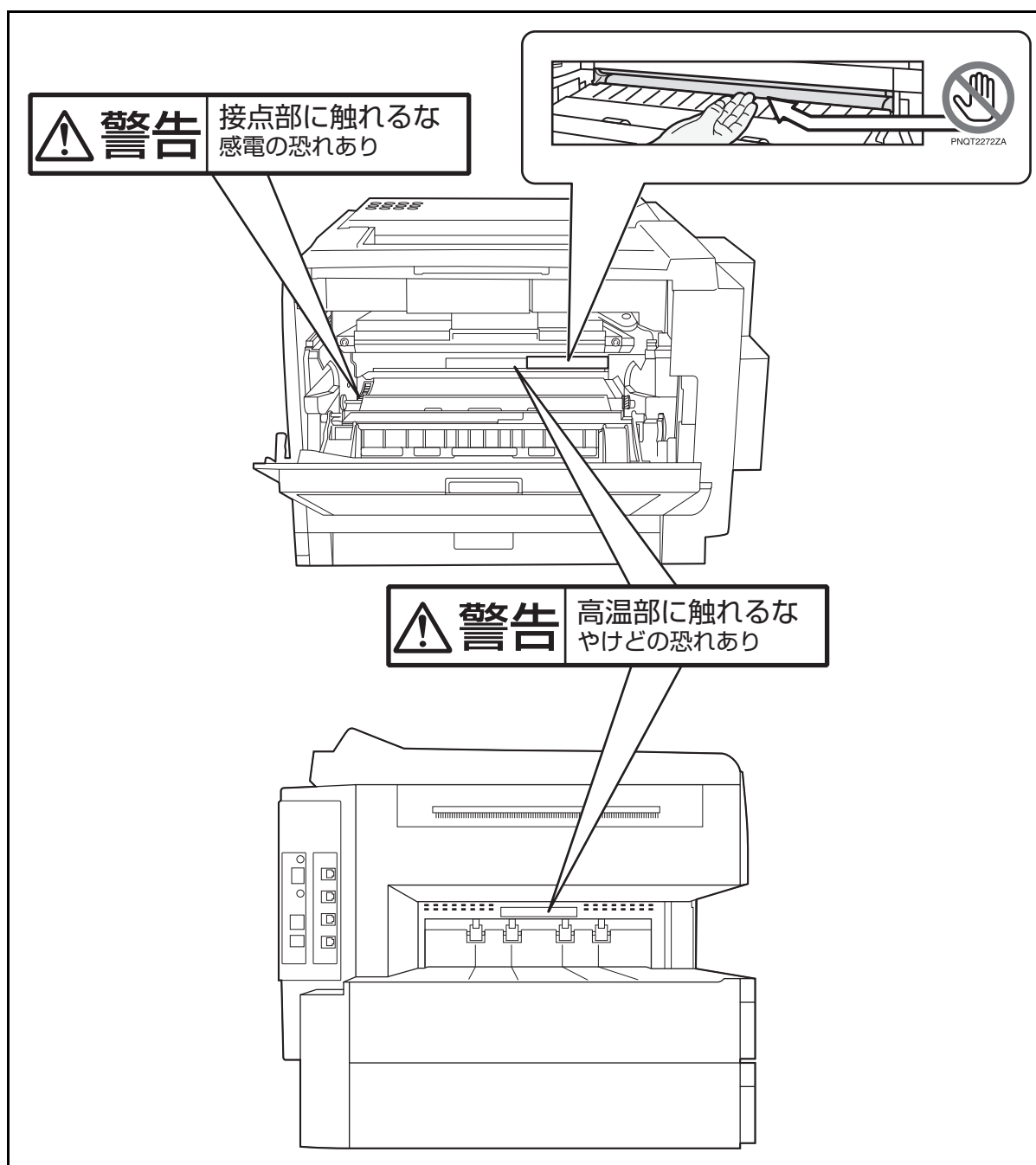
●操作時のお願い

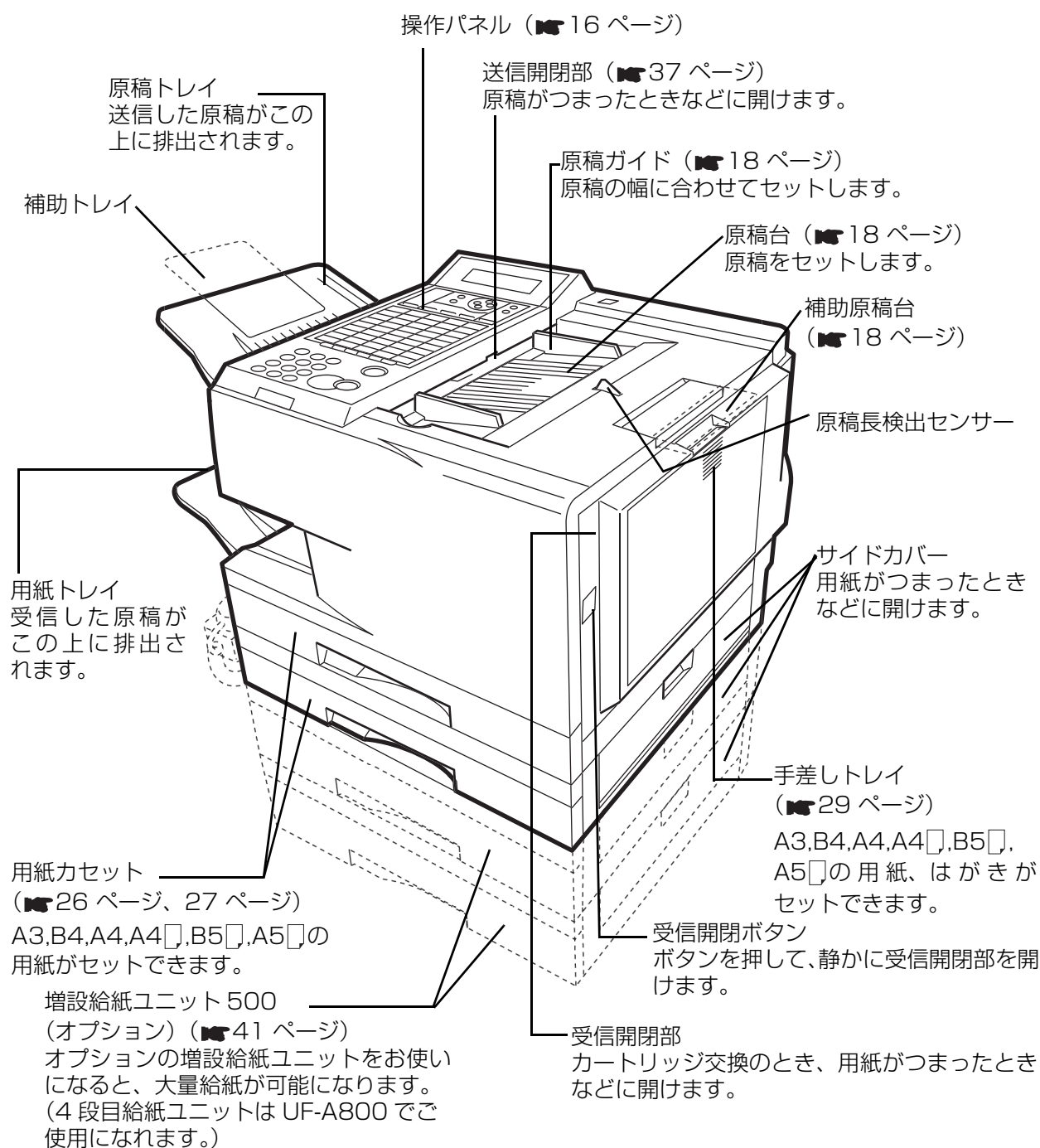
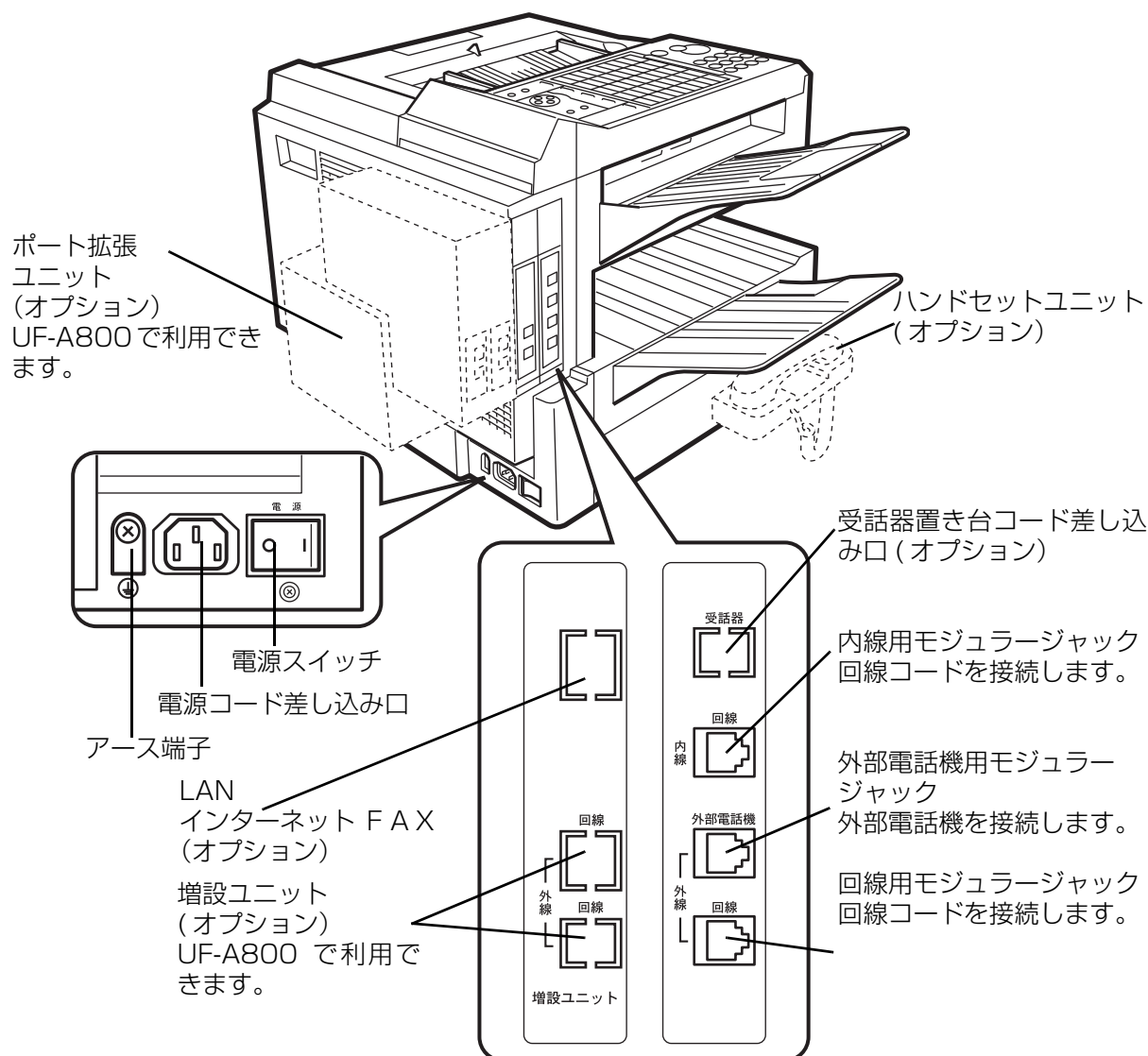
■動作中に電源プラグを抜いたり、本体カバー等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください。（紙づまりの原因となります）

■誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。

●相手先のファクス番号、ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
●大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
1.まず受話器を上げて、発信音（ツー音）を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
2.相手先からファクス応答信号（ピーヒョロロ音）が聞こえたらスタートボタンを押してください。

●注意ラベルについて

■本機には安全にお使いいただくために次のような注意ラベルが貼ってあります。内容をよく読み、安全にお使いください。
（ラベルは本体右側面の受信開閉部を開け、プロセスカートリッジを引き抜いた箇所及び本体左側面の用紙排出口付近にあります。）

各部の名前と働き

正面・右側面図

左側面・背面図

節電機能について

本機には、機械を使用しないときに機械内部の消費電力を抑える節電機能（省エネ運転、または節電運転）が備わっています。省エネ運転では操作パネル以外の電源をオフに、節電運転では定着器のヒーターをオフにします。これらの節電機能が働いてないときは、ヒーターがオンの状態となります。
お買い上げ時の設定（常時）では、本機を約 4 分間使用しないと省エネ運転に移行するように設定されています。

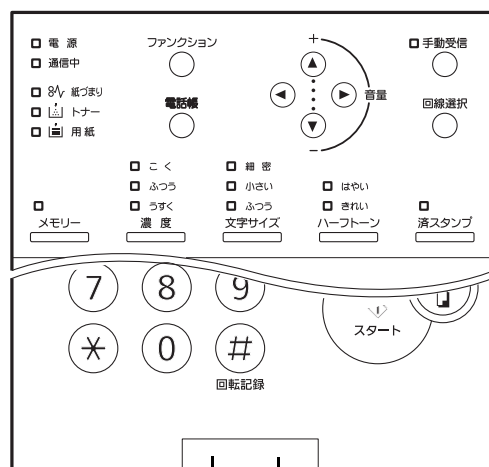
●常時設定
「省エネ」もしくは「節電」を設定し、省エネモードに移行する条件設定を「常時」にしている場合は、約 4 分間使用しないと省エネモードに移行します。

●時刻指定設定
「省エネ」もしくは「節電」を設定し、省エネモードに移行する条件設定を「時刻指定」にしている場合は、指定された開始時刻になると省エネモードに移行し、終了時刻になると通常のモードに戻ります。

お知らせ

- 省エネモードの設定はシステム登録の「034 省エネモード」で変更できます。
  （☞『取扱説明書 ファクス編』）
- 省エネモード運転中はディスプレイに「省電力中です」と表示されます。
  （「節電」設定時はヒーターオフとなるだけで、表示はされません。）お使いになる場合は操作パネルのいずれかのボタンを押すことで通常のモードに戻ります。

操作パネルの名前と働き

ランプ表示

□電源　ランプ
□通信中　ランプ
□紙づまり　ランプ
□トナー　ランプ
□用紙　ランプ
□メモリー　ランプ
□こく　ランプ
□ふつう　ランプ
□うすく　ランプ
□細密　ランプ
□小さい　ランプ
□ふつう　ランプ
□はやい　ランプ
□きれい　ランプ
□手動受信　ランプ
□済スタンプ　ランプ
エラー　ランプ
Doing　ランプ

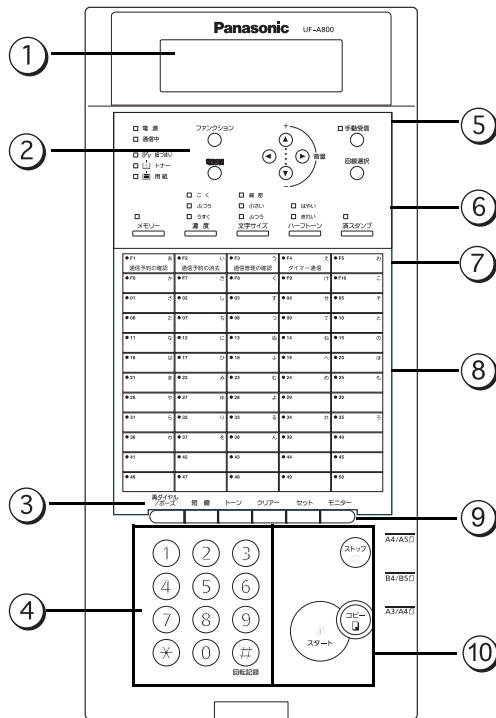
■ランプの表示について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯　　ランプの消灯　　ランプの点滅

ランプの種類	ランプのつき方（色）	ファクス本体の状態
電源ランプ	点灯 ■ （緑）	本体の電源が入っているとき
通信中ランプ	点滅 ☼ （緑）	通信中および受話器（オプション）を上げたとき
紙づまりランプ	点灯 ■ （赤）	用紙がつまったとき
トナーランプ	点灯 ■ （赤）	トナーが無いとき
	点滅 ☼ （赤）	トナーが残り少なくなったとき
用紙ランプ	点灯 ■ （赤）	すべてのカセット（および、開いている手差しトレイ）に用紙が無いとき
	点滅 ☼ （赤）	いずれかのカセット（または、開いている手差しトレイ）に用紙が無いとき
手動受信ランプ	点灯 ■ （緑）	手動受信が選択されているとき
メモリーランプ	点灯 ■ （緑）	メモリー送信をするとき
こくランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「こく」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「ふつう」に選択されているとき
うすくランプ	点灯 ■ （緑）	濃度が「うすく」に選択されているとき
細密ランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「細密」に選択されているとき
小さいランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「小さい」に選択されているとき
ふつうランプ	点灯 ■ （緑）	文字サイズが「ふつう」に選択されているとき
はやいランプ	点灯 ■ （緑）	ハーフトーンが「はやい」に選択されているとき
きれいランプ	点灯 ■ （緑）	ハーフトーンが「きれい」に選択されているとき
済スタンプランプ	点灯 ■ （緑）	済スタンプが選択されているとき
エラーランプ	点灯 ■ （赤）	全カセットの用紙がない／全カセットが確実にセットされていない／原稿または用紙がつまったときなど
	点滅 ☼ （赤）	一部のカセットの用紙がない／一部のカセットが確実にセットされていないとき
Doing ランプ	点滅 ☼ （緑）	読み取り中、記録中

各種ボタン

詳しくは、『取扱説明書 ファクス編』をご覧ください。

①
ディスプレイ
日、時刻、宛先、電話番号、装置の状態などを表示します。

②
ファンクション ボタン
各種の機能を選ぶときや、登録するときに押します。

電話帳 ボタン
電話帳を検索するときに押します。

③
再ダイヤル／ポーズ ボタン
再ダイヤルするとき、または、番号の間に空白時間を入れるときに押します。

短縮 ボタン
短縮ダイヤルするときに押します。

トーン ボタン
回転ダイヤル式回線でプッシュホン信号を使いたいときに押します。

④
テンキー ボタン
ダイヤルするときや、各種の機能を選ぶときに押します。

回転記録 ボタン
回転記録の設定を手動で切り替えるときに押します。（☞23 ページ）

⑤
音量 ／ ∨ ∧ ＜ ＞ ボタン
モニターおよび呼出音量を大きくしたり、小さくします。
また、文字などの入力のときカーソルを左右に移動させたいときに押します。

手動受信 ボタン
手動受信するときに押します。

回線選択 ボタン
内線と外線を切り替えます。

⑥
メモリー ボタン
原稿をメモリーに読み込んでから送信するときにランプを点灯させます。

濃度 ボタン
原稿の濃さに合わせて選びます。

文字サイズ ボタン
原稿の文字の大きさに合わせて選びます。

ハーフトーン ボタン
ハーフトーンを選ぶときに押します。

済スタンプ ボタン
済スタンプを選ぶときに押します。

⑦
機能 ボタン
通信予約などの 4 種類の機能を、ボタン 1 つで選べます。また、10 種類まで機能を登録することができます。

⑧
ワンタッチダイヤル ボタン
ワンタッチダイヤルするときに押します。
また、プログラムに登録した通信をするときに押します。

⑨
クリアー ボタン
入力した文字や数字を訂正するときに押します。

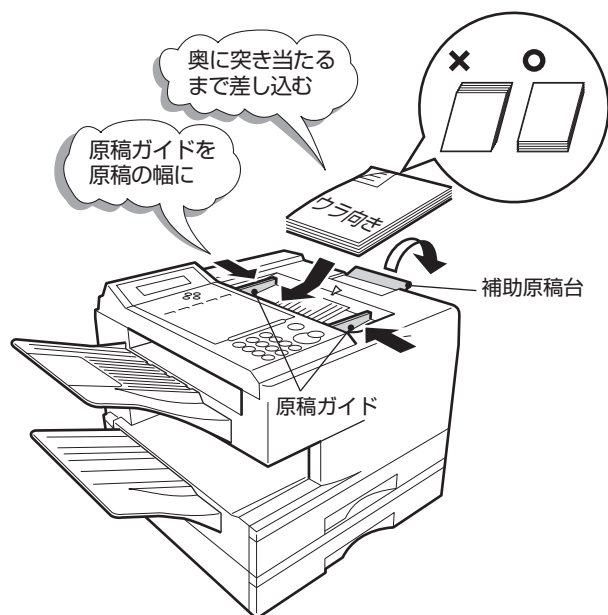
セット ボタン
選択した内容を確定するときに押します。

モニター ボタン
受話器（オプション）を置いたまま、ダイヤルするときに押します。

⑩
ストップ ボタン
送信やコピー、登録などを途中でやめるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。

コピー ボタン
コピーするときに押します。

スタート ボタン
ファクスの送信や受信をするときに押します。

原稿のセットのしかた

原稿をセットする

原稿は正しくセットしてください。原稿づまりなどのトラブルの原因になります。

1 原稿ガイドを合わせる

・原稿ガイドをスライドさせて、原稿の幅に合わせます。

2 送る面をウラ向きにする

3 奥に突き当たるまで差し込む

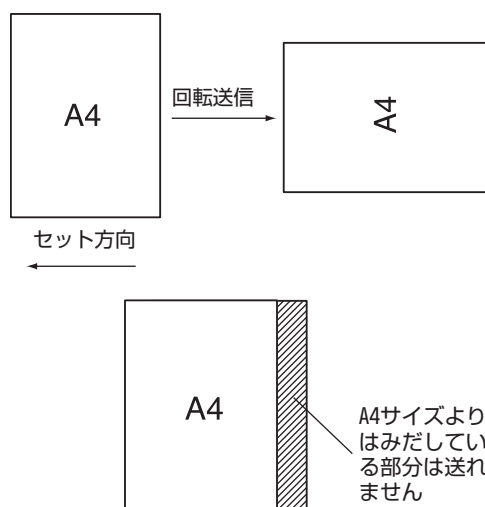
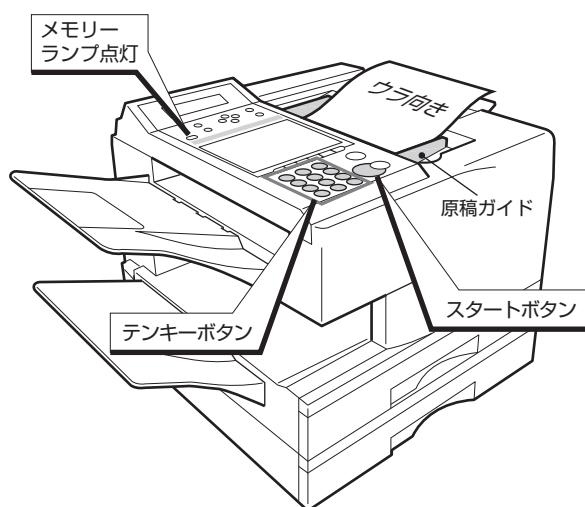
お知らせ

● B4 サイズ以上の原稿をセットするときは、補助原稿台を開いて使います。

原稿サイズとセット方向について

本機ではセットされた原稿のサイズと向きを自動で検知するセンサーが原稿挿入口と原稿台についています。
A4 原稿の長辺側を原稿挿入口にセットすると、原稿長検出センサー（☞14 ページ）により A4▯ と認識し自動的に画情報を 90°回転して A4▭として等倍送信します。

お知らせ

● 回転送信した場合、定型サイズの部分しか送ることはできません。
● しわやカールのきつい原稿は原稿台のセンサーが誤動作しますので、しわやカールを伸ばしてからご使用ください。
● A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は A5 として検知します。
● お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は " あり " になっています。

ファクスを送る

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に電話番号の再入力（ダイヤル再入力）、および宛先確認をしてから送信するように設定されています。（『取扱説明書 ファクス編』）
- システム登録の「136　直接ダイヤル制限」が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルを禁止できます。（『取扱説明書 ファクス編』）
- 宛先をまちがえたときは、[クリアー]を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押したあとに①（はい）を押してください。
- 直接ダイヤルでは、テンキーボタン（0～9、＊、#）、ポーズ（-）、トーン（/）が使えます。
- 回転ダイヤル式回線をお使いの場合で[トーン]に切り替えたいときは[トーン]を押します。
- メモリーには、A4標準原稿でUF-A800：約255枚まで、UF-A700：約120枚まで、1回の通信予約で読み込めます。

直接ダイヤルで送る

■ [メモリー] ランプ点灯状態で
- 消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする
- 原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（『取扱説明書 ファクス編』）

```
7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ダイヤルする（最大52桁）

```
メモリー送信　　　宛先数:0000

0334919191_　　　　　外線
```

3 (スタート)を押す
- 電話番号の再入力を促すメッセージが表示されます。

```
再度入力してください

_　　　　　　　　　　外線
```

4 もう一度ダイヤルして、(スタート)を押す
- 宛先確認のメッセージが表示されます。
- 手順2と電話番号が一致しない場合は、手順2に戻ります。

```
メモリー送信　　　宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 ∨または∧で宛先を確認する

```
メモリー送信　　　宛先数:0001

0334919191　　　　　外線
```

```
メモリー送信　　　宛先数:0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート　　いいえ：クリアー
```

- 宛先確認をした場合だけ送信できます。

6 (スタート)を押す
- 原稿の読み取りが開始されます。
- 読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

短縮ダイヤルで送る

あらかじめ短縮ダイヤルを登録しておいてください。(☞『取扱説明書 ファクス編』)短縮ダイヤルは000～999までの任意の1000か所(UF-A700は200か所)をお使いになれます。

■ メモリー ランプ点灯状態で

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
(☞『取扱説明書(ファクス編)』)

```
 7月  1日(金)17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 短縮 を押す

```
メモリー送信     宛先数:0000

短縮:＿  (3桁)
```

3 短縮番号(000～999)を選ぶ

・テンキーボタンで短縮番号を選びます。

```
メモリー送信     宛先数:0001
Panasonic
短縮:001(3桁)
```

4 を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信     宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 ∨または∧で宛先を確認する

```
メモリー送信     宛先数:0001
Panasonic
短縮:001(3桁)
```

↓

```
メモリー送信     宛先数:0001
宛先間違いはありませんか?
はい:スタート   いいえ:クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

6 を押す

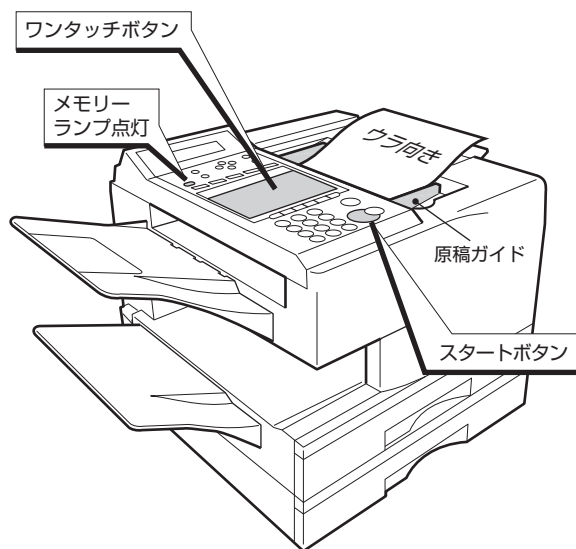
・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー送信     受付No.001
ダイヤル中(外線)
Panasonic
```

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。(☞『取扱説明書 ファクス編』)
- 宛先をまちがえたときは、(ストップ)を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押したあとに①(はい)を押してください。

ワンタッチダイヤルで送る

あらかじめワンタッチダイヤルにダイヤル番号を登録しておいてください（☛『取扱説明書 ファクス編』）。

■メモリー **ランプ点灯状態で**

・消灯しているときは、押して点灯させる。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛『取扱説明書（ファクス編）』）

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 ワンタッチボタン（01～50、F1～F10）を押す（★）

メモリー送信　　宛先数:0001
東京本社
ワンタッチ：０１

3 を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

メモリー送信　　宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

4 ∨または∧で宛先を確認する

メモリー送信　　宛先数:0001
東京本社
ワンタッチ：０１

↓

メモリー送信　　宛先数:0001
宛先間違いはありませんか？
はい：ｽﾀｰﾄ　　いいえ：ｸﾘｱｰ

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

5 を押す

・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

メモリー送信　　受付 No.001
ダイヤル中（外線）
東京本社

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛『取扱説明書（ファクス編）』）
- 宛先をまちがえたときは、（ストップ）を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、（ストップ）を押したあとに①（はい）を押してください。
- ★ファンクション登録ボタン[F1]～[F10]にダイヤル番号を登録して（☛『取扱説明書 ファクス編』）おけば、ワンタッチボタンと同じようにしてファクスを送ることができます。

★複数の宛先が登録されているワンタッチボタンと（スタート）を選ぶと、自動的に順次同報送信を始めます。ただし、システム登録の「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている場合に限ります。

複数宛先の指定のしかた（順次同報送信）

宛先は直接ダイヤルで20か所、短縮ダイヤル・ワンタッチボタンのうちで1000か所の、計1020か所（UF-A700は220か所）まで指定できます。複数宛先を指定するには、システム登録の「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている必要があります（お買い上げ時は、“なし”に設定されています）。

- 直接ダイヤルで選ぶ→[宛先の電話番号]＋[セット]＋[再入力]＋[セット]→次の宛先を選べる
- 短縮ダイヤルで選ぶ→[短縮]＋[指定する短縮番号]→次の宛先を選べる
- ワンタッチボタン･ファンクション登録ボタンで選ぶ
  →指定するワンタッチボタン・ファンクション登録ボタンを押す→次の宛先を選べる
- 電話帳ボタンで選ぶ
  →(電話帳)→[検索文字を選ぶ]＋[宛先を表示させる]＋[セット]→次の宛先を選べる
- ハイブリッドダイヤルで選ぶ
  →[ハイブリッドダイヤル]＋[組み合わせる短縮ボタンまたはワンタッチボタン]＋[セット]＋[再入力]＋[セット]→次の宛先を選べる

例：「0334919191」「ワンタッチボタン01」「短縮ダイヤル001」を指定する。

1 原稿をセットする

2 ダイヤルする

メモリー送信　宛先数: 0000
0334919191_　外線

3 [セット]を押す

再度入力してください
_　外線

4 もう一度ダイヤルして、[セット]を押す

メモリー送信　宛先数 :0001
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

5 [●さ 01 K]を押す

メモリー送信　宛先数 :0002
東京本社
ワンタッチ：０１

6 [セット]を押す

メモリー送信　宛先数 :0002
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

7 [短縮]⓪⓪①を押す

メモリー送信　宛先数 :0003
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：００１（３桁）

8 [セット]を押す

メモリー送信　宛先数 :0003
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

9 (スタート)を押す

メモリー送信　宛先数 :0003
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

10 ∨または∧で、すべての宛先を確認する

メモリー送信　宛先数 :0003
0334919191　外線

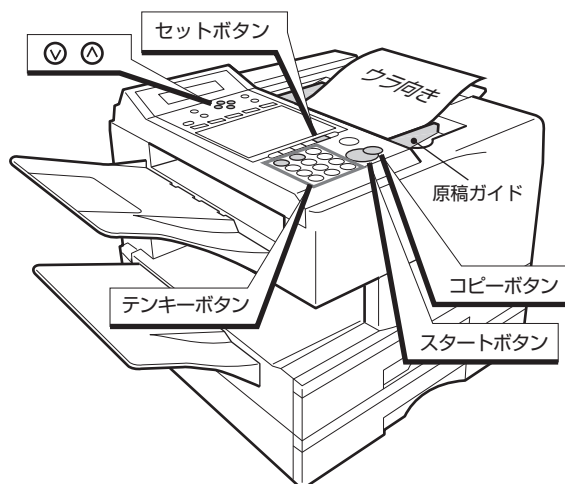
11 (スタート)を押す

・原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

- 複数宛先指定の途中で∨ ∧ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。
- まちがった宛先を指定したときは、∨∧ボタンで宛先を表示させてから[クリアー]を押してください。
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルは利用できません。
- お買い上げ時は、システム登録の「125 宛先確認」が"あり"に設定されています。すべての宛先の確認が終了すると、送信が開始されます。
- お買い上げ時は、システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」が“あり”に設定されています。直接ダイヤルを利用すると、電話番号の再入力画面が表示されます。
- システム登録の「091 宛先確定」が“あり”に設定されている場合は、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルを連続して指定できません。[セット]を押してから次の宛先を指定してください。

コピーのしかた

コピーをするとき、次の３つの項目を選んでください。
- コピーの部数を指定する。
- ソートコピーまたはマルチコピーを選ぶ。
  - ・ソートコピー：コピーする原稿をすべて読み取り、ページの順番を合わせて、指定部数をコピー
  - ・マルチコピー：原稿を１枚ずつ読み取り、指定部数をコピー
- コピーする用紙を選ぶ。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて画質を選ぶとき。
（☛『取扱説明書（ファクス編）』）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 を押す

```
コピー
部数＝ 1  倍率＝１００％
A4 →カセット１（A4 ）
```

3 コピーする部数（最大 99 部）を入れる

・テンキーボタンでコピーする部数を入れます。

4 セット を押す

```
コピー
ソート指定
１．する       ２．しない
```

5 ①または②を選び セット を押す

１：する　→ソートコピーをする
２：しない→マルチコピーをする

```
コピー
用紙選択（１－２）
１：カセット１＝Ａ ４
```

6 用紙カセットを①～④で選び セット を押す

・③、④はオプションカセット設定時に設定できます。

```
コピー
等倍
倍率＝１００％
```

7 ⓥまたはⓐを繰り返し押して固定倍率を選び セット を押す

・原稿を 90° 回転させてコピー（回転記録）の設定を手動で切り替えるときは ㊒（回転記録）を押します。

```
コピー
等倍
倍率＝１００％      回転
```

8 を押す

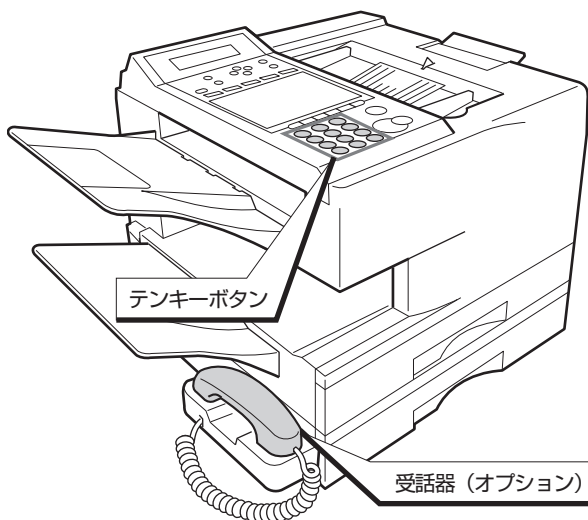
・原稿を読み取り、コピーが開始されます。

お知らせ

- コピーを途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- 文字サイズは自動的に「細密」になります。
- 手順 2 で濃度、ハーフトーンを設定できます。ハーフトーンを設定したときは自動的に「きれい」になります。
- 手順 2 で原稿の大きさを認識し、原稿の大きさに合った用紙と倍率（縮小率）を自動的に選択します。認識した原稿の大きさと選択した用紙は、ディスプレイの下段に表示されます。
- A5 より小さい原稿（A6 サイズ）は、A5 サイズとして検知されます。
- 原稿と用紙の方向によって、原稿を 90°回転させてコピー（回転記録）をする場合があります。
- 異なったサイズの原稿をいっしょにセットしてコピーすると、正しくコピーできない場合があります。
- コピー中に用紙が無くなったときは、いったん読み取った原稿はメモリーから消去され、コピーは中断されます。用紙を補充し、まだコピーされていない原稿をもう一度セットして手順 1 から操作し直してください。
- 原稿を読み取り中にメモリーがいっぱいになった場合には、手順 4 で［ソートしない］を選択してコピーし直してください。
- 手差しトレイが開いている場合、手順 6 で手差しトレイの選択ができます。
- 回転ソートコピーをする場合は、システム登録の「083 回転ソート」の設定を“あり”にしてください。（☛『取扱説明書（ファクス編）』）
- 用紙サイズの表示に［＊＊＊＊］と表示されたときは、用紙カセットが正しくセットされていないか、手差しトレイの用紙サイズダイヤルが、表示の無いところに合わせてあります。正しくセットし直してください。
- 手順 6 で用紙を選択したときのコピー倍率は下表のようになります。手順 7 で変更します。

	用　紙						
	A3	B4	A4	A4▯	B5▯	A5▯	はがき
A3	等倍	86%	70%	R70%	R61%	R50%	50%
B4	等倍	等倍	81%	R81%	R70%	R57%	50%
A4	等倍	等倍	等倍	R 等倍	R86%	R70%	50%
A4▯	等倍	R 等倍	R 等倍	等倍	86%	70%	R50%
B5▯	等倍	等倍	R 等倍	等倍	等倍	81%	R57%
A5▯	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	等倍	R 等倍

- 「R ～%」「R 等倍」は 90°回転してコピーします。
- はがきへコピーするときは、コピーされない部分ができます。

電話の使い方（オプション）

電話をかける

1 受話器を上げる

・「ツー」が聞こえる。
・《通信中》ランプが点滅する。

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
受話器が上がっています

2 宛先を指定する

・ 直接ダイヤル / ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 電話帳ダイヤル

・ダイヤルのしかた（☞19 ページ）

7月　1日（金）17:15　00%
ダイヤルしています
0334919191_

3 話をする

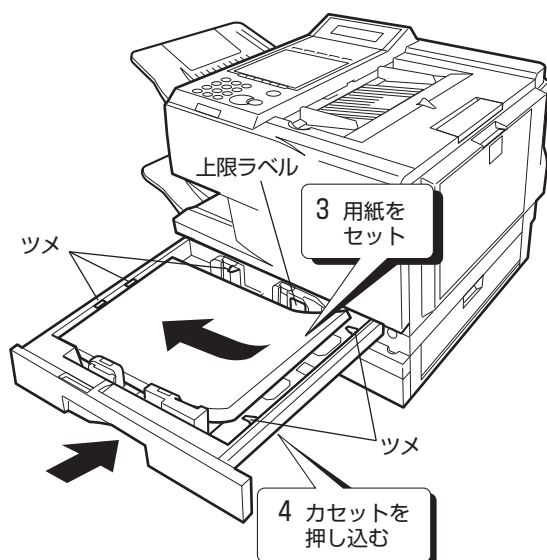
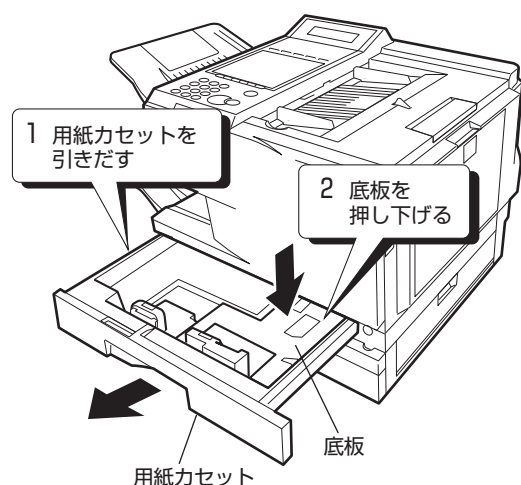
4 受話器を戻す

お知らせ

- オプションのハンドセットユニットをお使いになるときは、システム登録の「075 OP ハンドセット」の設定を“あり”にしてください。（☞『取扱説明書 ファクス編』）
- 宛先をまちがえたときは、受話器を戻して、手順 1 からやり直します。
- 手順 2 でワンタッチダイヤルを使用したとき、「ピピピ」と鳴ったときは、グループダイヤルとして登録されているかまたはプログラムダイヤルとして登録されているワンタッチダイヤルを選んでいます。電話をかけることはできません。
- 電話の場合、「電話帳ボタン」でダイヤルするときは、（スタート）を押します。
- モニター を押すと、受話器を上げないでダイヤルできます。電話がつながったら、受話器を上げてお話しください。モニターを利用するには、システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」が“なし”に設定されている必要があります（お買い上げ時は、“あり”に設定されています）。
- ハンドセットユニットまたは外部電話機を設定することで、IP 電話サービスを利用した通話が可能になります。この場合システム登録の「123 リルート機能」が " あり " に設定されていても、リルート機能は働きません。（☞『取扱説明書 ファクス編』）
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルは利用できません。

用紙の補充

用紙がなくなると、ディスプレイに“カセット■に用紙を補給してください”が表示され、用紙ランプが点灯します（「■」は何段目のカセットかを示しています）。

- 用紙を補充するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙をセットするときには、サイズ検知レバー（☞28 ページ）のサイズ表示が用紙サイズと合っていることを確認してください。合っていないと紙づまりとなります。

1 用紙カセットを止まるまで静かに引き出す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

3 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5 か所）の下にセットする

4 用紙カセットを奥に突き当たるまで確実に押し込む

- 用紙カセットは静かにセットしてください。

お知らせ

- 一度にセットできる枚数は、最大 250 枚です。
- オプションの「増設給紙ユニット 500」に一度にセットできる枚数は、最大 500 枚です。
- 用紙は、用紙上限ラベルの矢印を越えてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 折り目、シワのある用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。
- プリント中は、用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙カセットにサイズの違う用紙を混在させてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
- 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

1　用紙カセットをはずす

2　底板を押し下げる

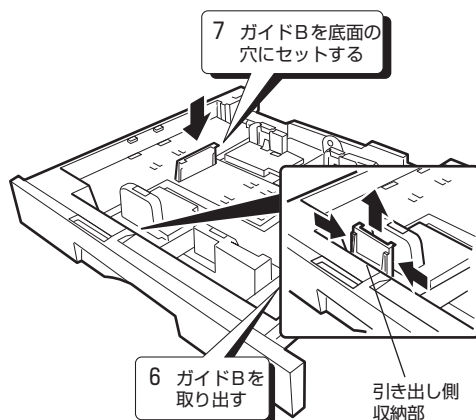
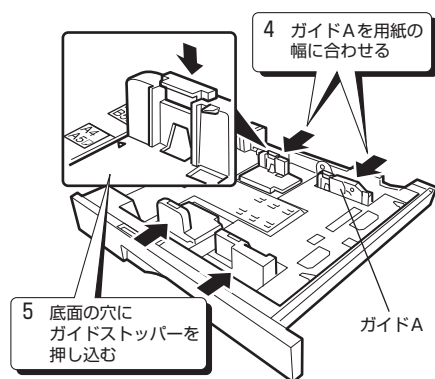
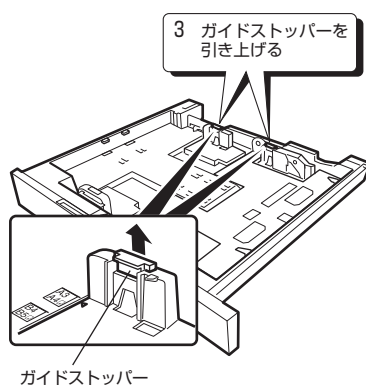
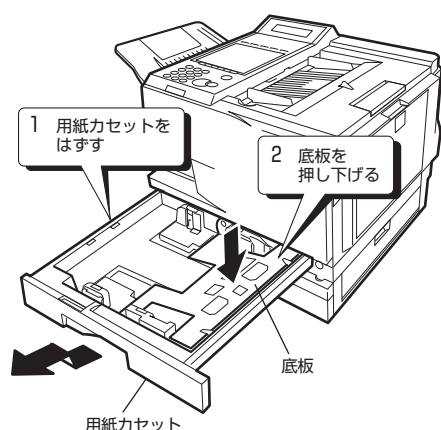
底板

用紙カセット

用紙カセットのサイズ変更

本機の用紙カセットは、A3、B4、A4、A4▯、B5▯、A5▯の各サイズに共用できます。お使いになる用紙のサイズに合わせて、サイズを変更してください。

- 用紙カセットのサイズを変更するときは、電源スイッチを“I”（入）のままにしてください。
- 用紙サイズを変更するときは、必ず用紙カセットのサイズ検知レバー（☛28 ページ）も合わせて、変更してください。合っていないと紙づまりとなります。

例：A3 サイズの用紙カセットを A4 に変更する場合

1 用紙カセットを引き出し、矢印の方向に引き上げるようにして外す

2 底板を「カチッ」と音がするまで押し下げる

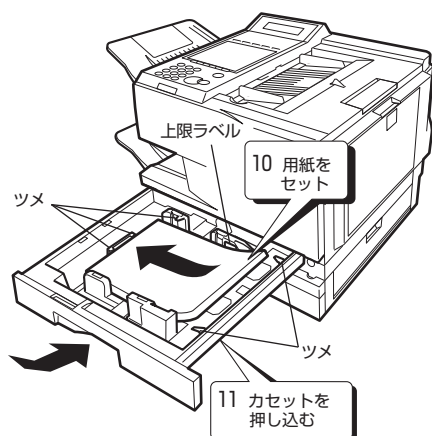
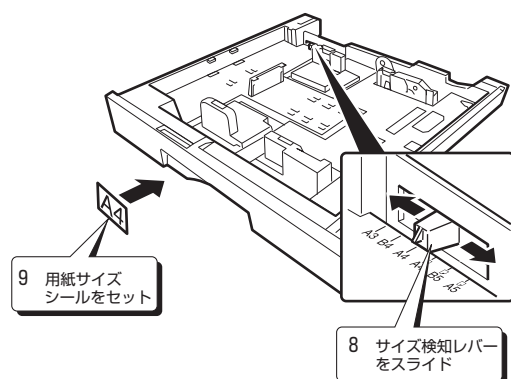
3 緑色のガイドストッパー（2 か所）を引き上げる

4 ガイドAをスライドさせ、セットする用紙の幅（A4、A5▯）に合わせる

5 底面の穴にガイドストッパーのツメを合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込む

6 ガイド B（緑色）の両側を押して、取り出す

7 ガイド B のツメを用紙カセットの底面の穴（A4）に入れ、セットする

- A3 サイズの場合は、ガイド B を用紙カセットの引き出し側収納部にセットします。

8 サイズ検知レバー（緑色）をスライドさせて、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

9 用紙サイズシールをセットする用紙サイズ（A4）に貼り替える

10 用紙の四隅をきちんとそろえ、ツメ（5か所）の下にセットする

11 用紙カセットの手前を少し持ち上げ、カセットの突起部を本体のレールに沿わせるようにして、奥まで確実に押し込む

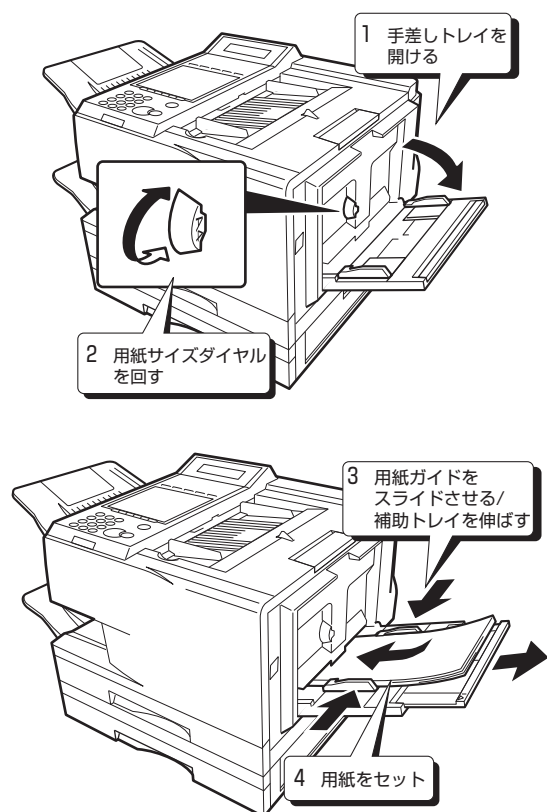
・用紙カセットは静かにセットしてください。

お知らせ

● はがきにプリントするときは、手差しトレイにセットします（☛29ページ）。

手差しトレイへの用紙セット

手差しトレイには、A3、B4、A4、A4▯、B5▯、A5▯）の各サイズの用紙および、はがきがセットできます。
一度にセットできる用紙は最大 30 枚、官製はがきは最大 5 枚です。
・ 用紙サイズダイヤルは「カチッ」と音がするまで回し、必ず正しいサイズ表示に合わせてください。合っていないと紙づまりの原因になります。

例：A4 用紙をセットする場合

1 手差しトレイを開ける

2 用紙サイズダイヤルを回して、セットする用紙サイズ（A4）に合わせる

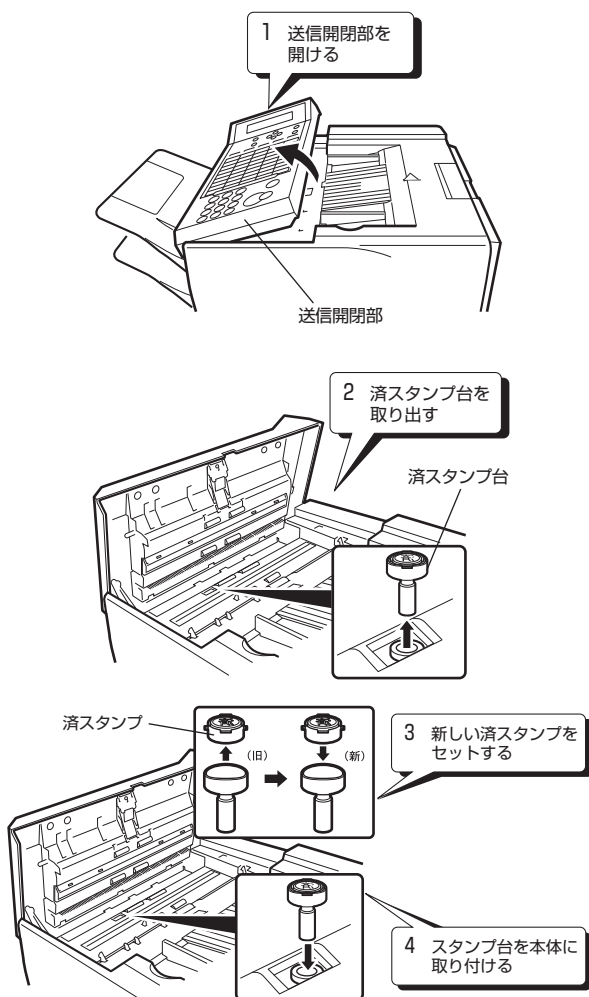
・「カチッ」と音がするまで回します。

3 用紙ガイドをスライドさせてセットする用紙の幅（A4 ／ A5▯）に合わせ、手差し補助トレイを伸ばす

4 用紙の四隅をそろえ、印字したい面を上にしてツメの下にセットし、奥に突き当たるまで差し込む

お知らせ

● 用紙がセットされていないと、用紙ランプが点滅し、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。
● 手差しトレイはコピーするときに使用します。
● 用紙の長さが A4 サイズ以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを伸ばしてからセットします。
● セットする用紙の量は、規定の枚数より多くセットしないでください。規定の枚数を超える量をセットすると、紙づまりの原因になります。
● 官製はがき以上の厚いはがきにプリントすると、印字品質が低下したり、紙づまりの原因になります。
● 用紙サイズダイヤルは、表示のないところに合わせないでください。表示のないところに合わせると、“手差しトレイに用紙を補給してください”と表示されます。また、コピーするとき、ディスプレイの用紙サイズは「＊＊＊＊」と表示され、用紙は繰り込まれません。
● 用紙は必ず用紙ガイドに合わせて正しくセットしてください。斜めにセットしたり、用紙ガイドに合わせないと、紙曲がりの原因となり、正しくプリントできません。
● 折り目、シワのある用紙、湿った用紙や、一度使用した用紙はセットしないでください。紙づまりの原因になります。

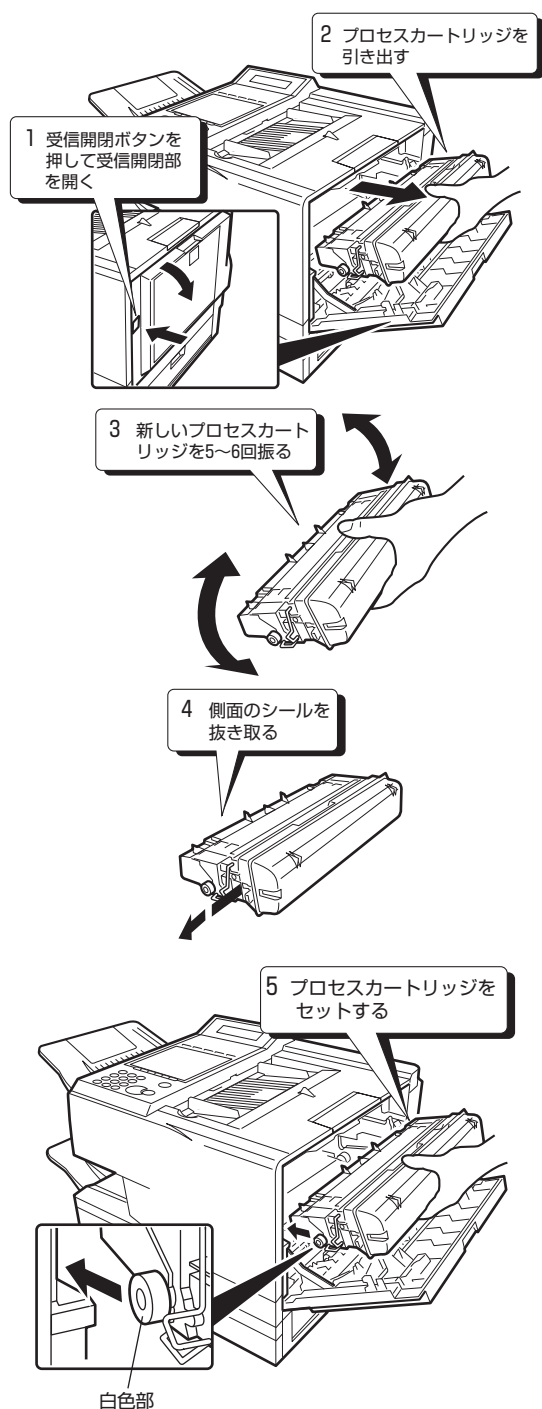
- 用紙を追加するときは、残っている用紙を上に重ねてセットしてください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因になります。
- 用紙をセットするときは、印字される面を上にしてセットしてください。
- プリント中には、用紙を追加しないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙がセットされているときは、手差しトレイを閉じないでください。
- 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少なく直接日光の当たらないところで保管してください。
- 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

済スタンプの交換

済マークが薄くなってきたら交換します。
・ 済スタンプは当社指定品をご使用ください（品番：UG-4105-2）

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 済スタンプ台を取り出す

3 使用済の済スタンプを取り外し、新しい済スタンプをセットする

4 スタンプ台を本体に取り付ける

プロセスカートリッジの交換

トナーが無くなると、ディスプレイに“トナーがありません”が表示され、トナーランプ▲が点灯します。プロセスカートリッジを交換してください。

- ・１時間以上電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。プロセスカートリッジの交換は、電源を“｜”（入）のままで行ってください。
- ・トナーの残量が少なくなってくると、トナーランプ▲が点滅します。早めにプロセスカートリッジを交換してください。
- ・トナーが無いときは、プリントができなくなります。

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 プロセスカートリッジを持ち、引き抜く

3 新しいプロセスカートリッジを５～６回振る

4 側面のシールを抜き取る

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

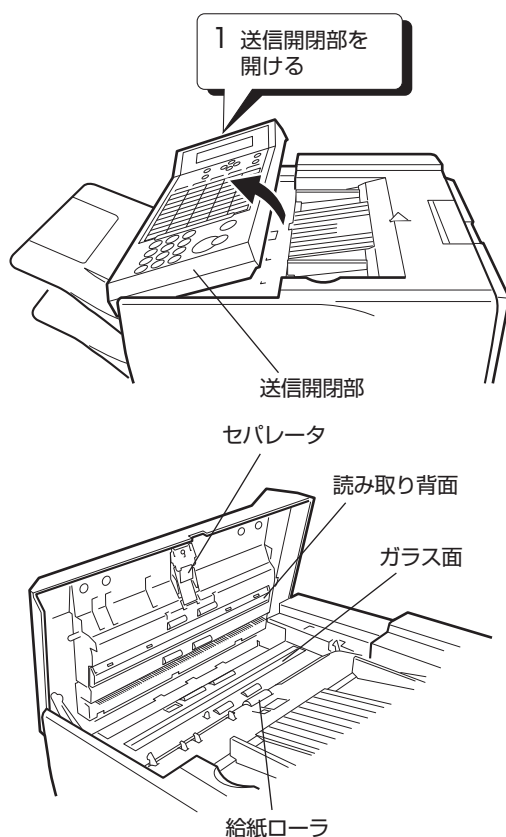
6 受信開閉部を確実に閉める

- ●当社では、環境保護のため使用済みのプロセスカートリッジを回収し、リサイクルを実施しております。使用済みのプロセスカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳しくは、プロセスカートリッジに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- ●プロセスカートリッジは、当社指定品をご使用ください。（品番：DE-1004）
- ●プロセスカートリッジの交換・回収についてご不明な点は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にご相談ください。

お知らせ

- ● プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- ● 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

お手入れのしかた

快適に末永くご使用いただくために、いつもきれいにしておいてください。
お手入れするときは、必ず電源スイッチを“○”(切)にしてください。

本体のお手入れ

カバーの汚れを取るときは、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)を含ませ、よく絞ってからふき取ってください。

- ・ みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、アルコール、ワックス、石油、熱湯などは絶対に使用しないでください。
- ・ 化学ぞうきんなどをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ・ 1 時間以上、電源が切れていると、メモリーに保存されている内容が消去される恐れがあります。

読み取り部のお手入れ

相手機の受信記録、コピーした記録が汚れてきたら、清掃してください。
また、原稿がつまったり、給紙が悪くなったときは、セパレータ、給紙ローラを清掃してください。

- ・ 柔らかい布に水を含ませ、よく絞ってからふきます。

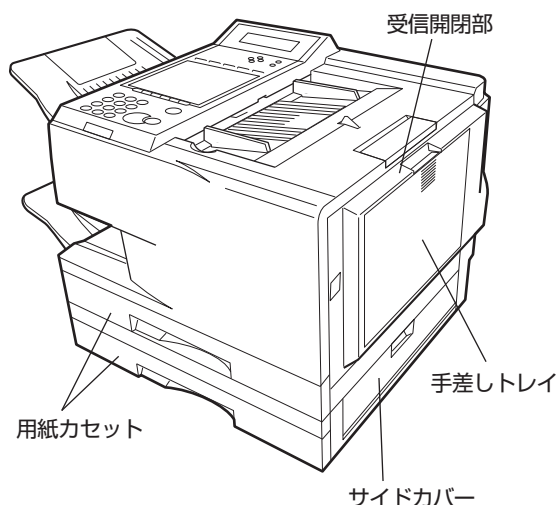
1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 読み取り部(ガラス面)、読み取り背面(白色面)、セパレータ、給紙ローラを拭く

3 送信開閉部を確実に閉める

お知らせ

● 読み取り部(ガラス面)に傷をつけないよう、ご注意ください。

こんなときには

用紙がつまったとき

用紙がつまると、ディスプレイに“用紙を確認してください”とエラーメッセージが表示され、紙づまりランプが点滅します。
次の表を参考にして確認箇所を選び、つまった用紙を取り除いてください。

エラーメッセージ	確認箇所
受信開閉部を開けて用紙を確認してください	受信開閉部、手差しトレイ
サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください	用紙カセット、サイドカバー

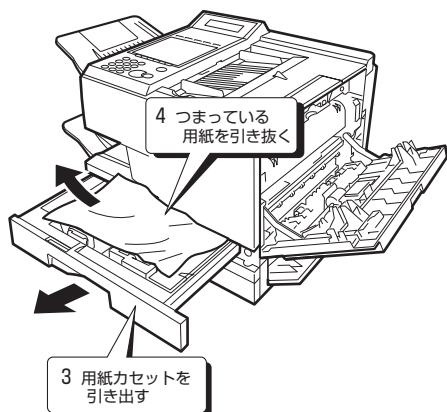
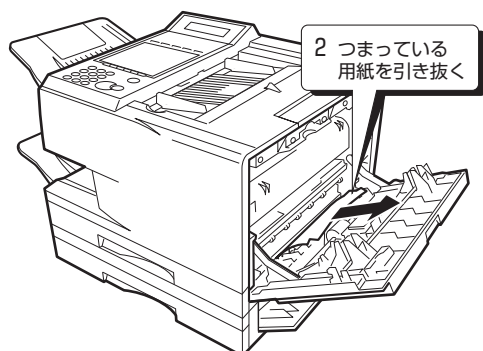
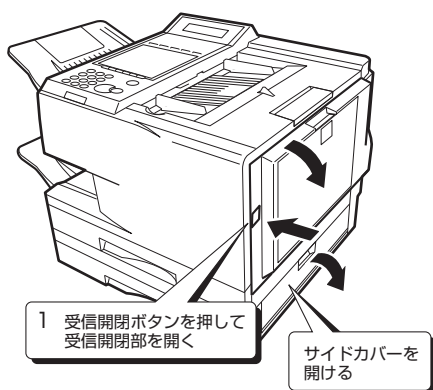
（上記エラーメッセージ中の「■」は何段目のカセットかを示しています）

お知らせ

● 用紙を取り除くときは、電源スイッチを“I”（入）のままで行ってください。

オプションの増設給紙ユニットをお使いの場合

増設給紙ユニットで用紙がつまったときは、「サイドカバー ■を開けて用紙を確認してください」が表示されます。（「■」は何段目のカセットかを示しています。）

次のようにして、つまった用紙を取り除いてください。
1　サイドカバーを開けて、つまった用紙を取り除く
2　増設給紙ユニットの用紙カセットを引き、つまっている用紙を取り除く
3　増設給紙ユニットの用紙カセットを確実にセットする
4　受信開閉部を開けて、つまっている用紙がないことを確認する
5　受信開閉部を確実に閉める

用紙カセットでつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部およびサイドカバーを開ける

2 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

3 用紙カセットを、止まるまで静かに引き出す

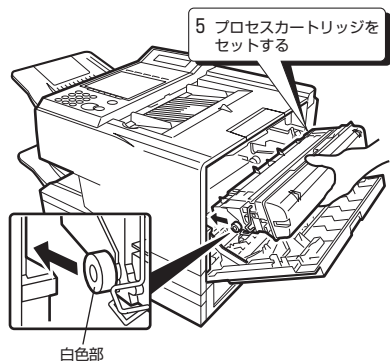
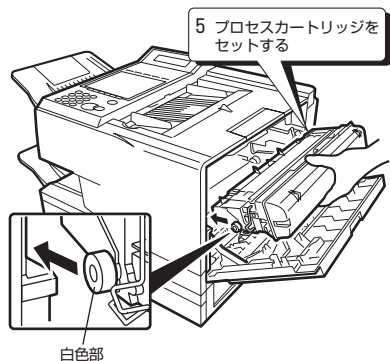
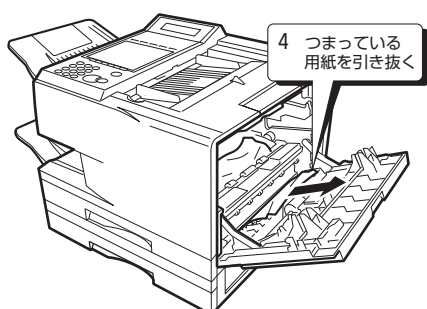
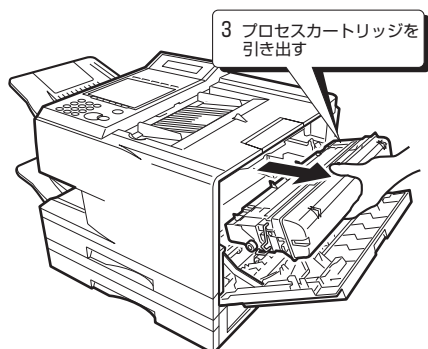
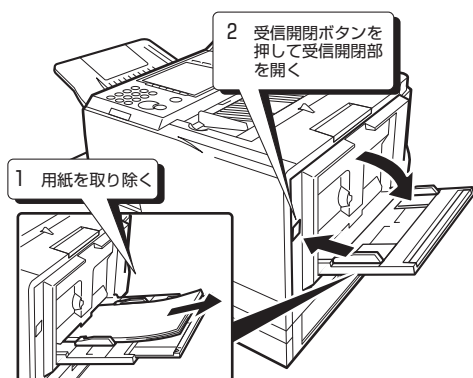
4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

5 用紙カセットを、奥に突き当たるまで確実に押し込む
・カセットは静かにセットしてください。

6 受信開閉部およびサイドカバーを確実に閉める

お知らせ

- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- 用紙カセットを戻す前に、残りの用紙が用紙カセットのツメ（5か所）の下に収まっていることをお確かめください。ツメの上に出ていると、紙づまりの原因となります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

手差しトレイでつまっているとき

1 手差しトレイにセットされている用紙を取り除く

2 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

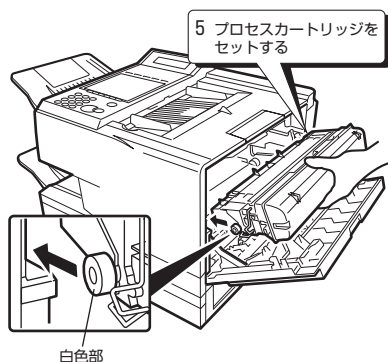
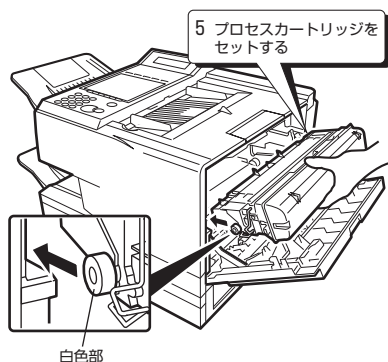
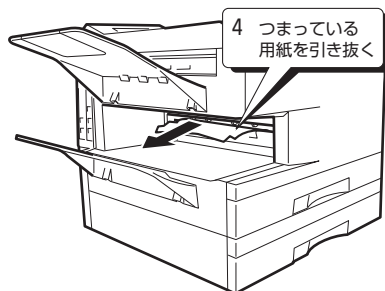
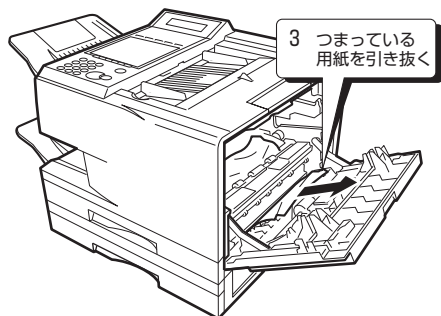
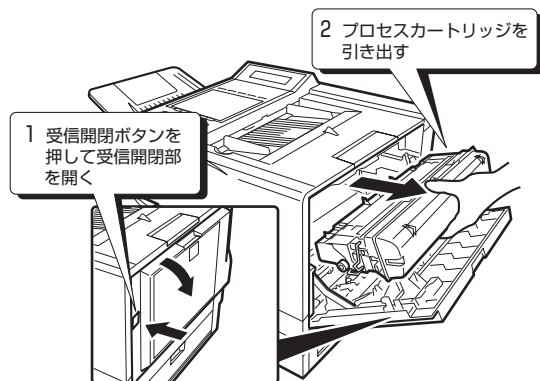
3 プロセスカートリッジを持ち、静かに引き抜く

4 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

- 用紙が本体内部でつまったときは、用紙サイズダイヤル（☞29 ページ）が、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

本体内部でつまっているとき

1 受信開閉ボタンを押して、静かに受信開閉部を開ける

2 プロセスカートリッジを持ち、静かに引き抜く

3 つまっている用紙を、矢印の方向に引き抜く

4 同様に、つまっている用紙を矢印の方向に引き抜く

5 プロセスカートリッジの突起部（白色部）を本体のレールに合わせ、静かにスライドさせてセットする

6 受信開閉部を確実に閉める

お知らせ

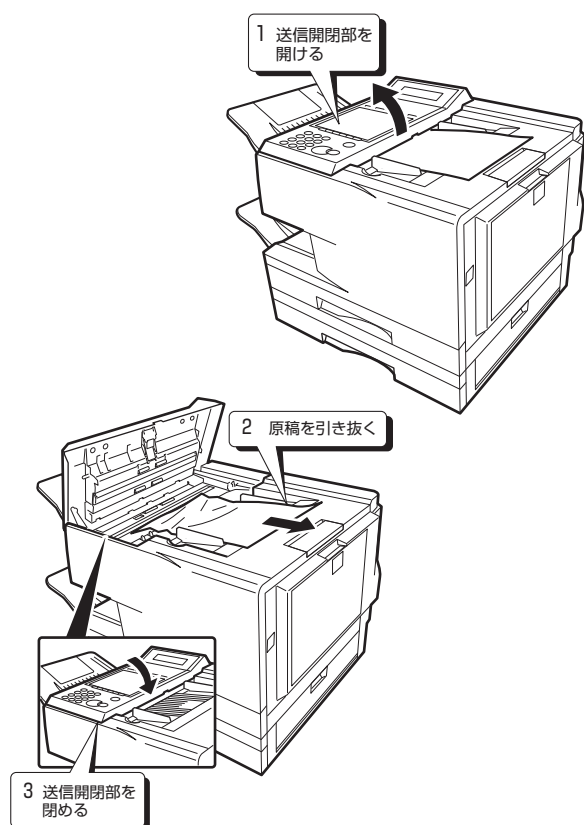
- 用紙が本体内部でつまったときは、サイズ検知レバーが、正しいサイズ表示に合っているかを確認してください。正しいサイズ表示に合っていないと紙づまりとなります。
- 用紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- プロセスカートリッジのドラム（グレー部）には手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
- 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

原稿がつまったとき

原稿がつまると、ディスプレイに“送信開閉部を開けて原稿を確認してください”が表示されます。

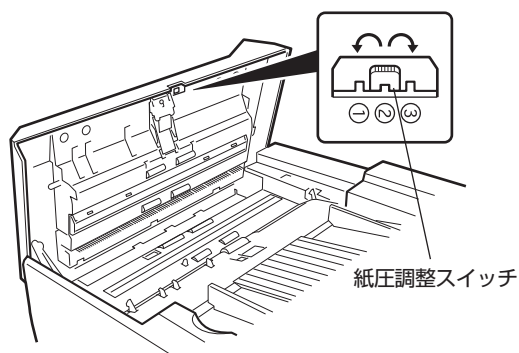
1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 つまっている原稿を、矢印の方向に引き抜く

3 送信開閉部を確実に閉める

自動給紙圧を調整する

原稿が繰り込まれないとき、重なって繰り込まれるときは、自動給紙圧の調整をしてください。

1 送信開閉部を止まるまで静かに開ける

2 紙圧調整スイッチ（青色）をスライドさせて調整する。スイッチの溝が本体の突起にはまる位置で止める

こんなときは	スイッチの位置
原稿が繰り込まれない	①②③
標準位置（通常はここにしておきます）	①②③
2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれる	①②③

3 送信開閉部を確実に閉める

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

こんなときは	原因	対応	参照ページ
原稿が繰り込まれない	送信開閉部が閉まっていない	送信開閉部を閉めてください	14 ページ
	A6 サイズより小さい原稿を送信開閉部にセットしている	キャリアシートを使って原稿をセットしてください	『ファクス編』
原稿が斜めに繰り込まれる	原稿ガイドを合わせていない	原稿ガイドを合わせてから、原稿をセットしてください	18 ページ
アラーム音が鳴り、“原稿を確認してください”が表示される	送信またはコピーする原稿が長すぎる	原稿の長さを 2000mm 以下にしてから、送信・コピーをしてください。	『ファクス編』
送信できない	セレクト送信をセットしている	セレクト送信を解除してください	
	パスワード送信をセットしている	パスワード送信を解除してください	
受信できない	セレクト受信をセットしている	セレクト受信を解除してください	
	パスワード受信をセットしている	パスワード受信を解除してください	
呼出音が鳴りっぱなしで、受信できない	ファクスが“手動受信”にセットされている	受話器を取り、受信操作をしてください	
	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに保存されている原稿をプリントしてください	
	電源が“○”（切）になっている	電源を“I”（入）にしてください	
受信した原稿がプリントされない	用紙がなくなっている	用紙を補充してください	26 ページ
	用紙が正しくセットされていない	用紙を正しくセットしてください	26 ページ
	用紙がつまっている	エラーメッセージを確認して、つまった用紙を取り除いてください	33 ページ
メモリーランプ点灯状態で送信できない	メモリーがいっぱいになっている	メモリーに空きができてから、送信してください	－
		ダイレクト送信してください	『ファクス編』
	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	－
		ダイレクト送信してください	『ファクス編』
リモート受信できない	システム登録の「047 リモート受信」が“なし”になっている	「リモート受信」を“あり”にしてください	
	ファクスと正しく接続されていない	正しく接続してください	
	外部電話機から電話をかけている	外部電話機から電話をかけた場合は、リモート受信はできません	－
タイマー通信や、ポーリング通信などの通信をセットできない	予約している通信が、50 通信になっている	予約している通信が終ってから、通信してください	－
		予約している通信を取り消してから、通信してください	『ファクス編』
セレクト通信できない	相手のダイヤル番号を、本機に登録していない	相手のダイヤル番号を登録してください	
	相手の ID 番号に、電話番号が登録されていない	相手に、ID 番号には電話番号を登録するように伝えてください	－
ポーリング通信できない	ポーリング通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	－
パスワード通信できない	パスワード通信用のパスワードが一致しない	相手に確認して、通信し直してください	－
受信またはコピーしたとき、白紙がプリントされる	原稿の裏表を逆にしてセットしている	原稿の裏表を確認してからセットし直してください	18 ページ

こんなときは	原因	対応	参照ページ
受信またはコピーしたとき、黒い筋や点がプリントされる	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	31 ページ
	読み取り部が汚れている	読み取り部を清掃してください	32 ページ
受信またはコピーしたとき、部分的に欠けていたり、記録が薄くなる	・用紙が湿気を含んでいる ・用紙に折り目やシワがある	新しい包装の用紙と交換してください	26 ページ
	プロセスカートリッジの異常	プロセスカートリッジを交換してください	31 ページ
送信またはコピーしたとき、両端がプリントされない	有効読み取り画面の外に文字が書かれている	文字は、有効読み取り画面の中に書いてください	『ファクス編』

お知らせ

● 以上の項目をチェックしても症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

主な仕様

項目	仕様
品番	UF-A700、UF-A800
認証機器名	UF-A700、UF-A800
電源	AC100V ±10V 50/60Hz
消費電力	待機時 ：節電モード時：約15W（省エネモード時：約1.6W） [UF-A700] 節電モード時：約21W（省エネモード時：約1.6W） [UF-A800] 最大動作時：約880W 送信時 ：約37W.. [UF-A700] 約55W.. [UF-A800] 受信時 ：約830W コピー時 ：約880W
適合回線	G3（注1）：電話回線、ファクシミリ通信網（F網2種接続サービス）、 国際ファクシミリサービス（Fポート） G4（注2）：ISDN回線
直流抵抗値	212Ω
通信可能機種	G3（国際規格）、G4（注2）
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信速度	G3（注1）：33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800 /14400/12000/9600/7200/4800/2400bps G4（注2）：64000/56000bps
走査線密度	ファクス 主走査：16dot/mm〔UF-A800〕、16dot/mm相当〔UF-A700〕 副走査：15.4line/mm（細密）、7.7line/mm（小さい） 3.85line/mm（ふつう） コピー 主走査：16dot/mm〔UF-A800〕、16dot/mm相当〔UF-A700〕 副走査：15.4line/mm
読み取り方式	CCDイメージセンサーによる固体電子走査
原稿サイズ	A3～A6（最大：幅297mm×長さ2000mm、最小：幅148mm×長さ105mm）
有効読み取り幅	（A3）最大：292mm、（A4）最大：205mm
記録方式	電子写真記録方式
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがき（手差しコピー時）
有効記録範囲	用紙の各辺から4mmを除く範囲
外形寸法	約523mm（W）×513mm（D）×452mm（H）（突起部を除く）
本体質量	約32kg
使用環境	温度：10℃～35℃ 湿度：45%～85% （ただし、35℃のときは、湿度70%以下、湿度85%のときは30℃以下）

- （注1）一般の電話回線での最高通信速度は28800bps程度です。
- （注2）「G4G3通信ユニット」オプション追加時です。
- 認定番号は、本体背面に記載しております。

消耗品・オプション

消耗品・オプション

■消耗品

用紙
良好な記録をしていただくため、できるだけ当社の推奨品をご使用ください。（詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。）

プロセスカートリッジ....................DE-1004
済スタンプ UG-4105-2

■オプション

キャリアシート
A3 ....UG-1100A3
B4 ....UG-1100B4
A4 ....UG-1100A4
増設メモリーキット 64MB............UE-410067
パナファクスデスク.........................UE-401006
第 3 給紙ユニット用
パナファクスデスク UE-401007
増設給紙ユニット 500 ....UE-409068

ハンドセットユニット.....................UE-403146
G4G3 通信ユニット（注 1）.........UE-407028
G3 通信ユニット（注 1）...............UE-407027
中継センターユニット（注 1).......UE-403183
インターネットFAX　ユニット............UE-404095
72H メモリー
バックアップ（注 1)...................UE-403157
ポート拡張ユニット（注 1)...........UE-403182

お知らせ
- オプションに関する詳細は、お買い上げの販売会社･販売店にお問い合わせください。
- 上記以外の増設メモリーカードを本装置へ使用すると故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。また、上記増設メモリーカードを指定以外の装置へ使用しても故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- (注 1) は UF-A800 でお使いになれます。

古い電池・電池パックはリサイクルに…

Ni-MH

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- 72H メモリーバックアップは、ニカド電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

Ni-Cd

- ニカド電池は貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池・電池パック、および使用済み製品から取り外した電池・電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙・発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
- 2 次電池のリサイクルに関しては、以下のホームページを参考にしてください。

一般社団法人 JBRC のホームページ
http://www.jbrc.net/hp/

- リサイクル時のお願い
  - ・ 電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
  - ・ ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - ・ 電池パックを分解しないでください。

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは
まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　　）　－

お買い上げ日　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

『取扱説明書（基本編）』（本書）の「故障かな？と思ったら」（p.38）でご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名　レーザー普通紙ファクシミリ

●品　番　UF-A800 / UF-A700

●故障の状況　できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 （ただし、消耗品は除く）

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
部品代　部品および補助材料代
出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　5 年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

● **アフターサービスについて、おわかりにならないとき**
お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています連絡先へお問合わせください。

● **使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。**
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

● **本製品は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。**
This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

● **本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。**
Exporting this product and/or its technology from Japan is restricted by the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When this product and/or its technology are exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（バナハ ヨイワ） 受付：9時～17時30分 （土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

・ パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番 UF-A800 UF-A700
販売店名	電話（　　　）　　-	
サービス実施会社名	電話（　　　）　　-	

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

X0811-1023(01)
PNQW3004ZB
February 2013
Printed in Japan